

『広域エリア』  
の  
活性化に向けて

5

# つながりを大切にした 住みたいまちを目指す

## (1) 広域エリア

### ① 区域

広域エリアは、中核エリアを除く、北条地域全体(浅海・立岩・難波・正岡・北条・河野・粟井)を区域とします。

### ② 現状と課題

北条地域は、西に斎灘<sup>いつきなだ</sup>、東には高縄山とその地形と自然の恵みを活かし、各地区が特色ある集落を形成してきました。住民はこれら先人が守り受け継いできた自然や文化を誇りに思い、後世に伝えようとコミュニティづくりを進めてきたことから、今も地区内における住民同士の絆は深く、地域行事には多くの老若男女が参加しています。

しかし、地区内における住民のつながりは強いものの、互いの地区同士の交流は薄れてきました。当地域は中世の豪族河野氏にゆかりの砦<sup>とりで</sup>や秋祭りをはじめ、点在するお堂などを結んだ風早八十八ヶ所など、全地区に共通する史跡や文化が地区をまたがって残っています。

こうした地域資源の活用などを軸に、地区間のコミュニティを深め、7地区が一緒に地域を盛り上げていくことが今後の北条地域の発展にとって重要な課題と言えます。

### ③ 活性化に向けた方針

現状と課題を整理すると、地区内の団結力は強いものの、地区同士の交流が希薄になりつつあることがわかります。将来像、あるべき姿は、人との絆を深め、地区の枠を越えたコミュニティをつくることです。

こうした考察をもとに広域エリアは、活性化に向け『つながりを強化する』を方針とします。

## ④ スローガン

『つながりを強化する』方針を共有するため、スローガンを掲げます。

# 北条地域は ひとつだ

北条という名前があるということ。  
それはつまり、つながっているということ。  
7つの地区がつながり、ひとつになる。  
過去からつながってきたこの北条を、  
未来のためにもひとつにするのは、  
今いる私たちの使命だ。